

平成24年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業 **【23,854,962円】**

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努めた。

1. 第30回 まつやま中学生海外派遣（予19,627,000円 決19,266,875円）

中学生を姉妹・友好都市へ派遣し、現地での交流や異文化体験を通じて、未来を担う青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成に努めた。

(1) 応募・選考

1年間の国際交流事業への参加実績に応じてポイントを付与し、翌年度の派遣事業への応募資格とする「中学生チャレンジプロジェクト」を実施。派遣前に松山で活動できる国際交流事業に参加し、その意義を学び、楽しさを体感することで、派遣後も引き続き地域の国際交流に貢献できる人材の育成を目指した。

4ポイント以上の参加により、応募資格を獲得した生徒は83人。面接審査により、3年生18人・2年生27人・合計45人（18校）を選考した。

(2) 事前研修及び結団式・壮行会

事前研修：4回開催

結団式・壮行会：7月15日（日）10:00～12:00

(3) 派遣

①アメリカ班

期 間：7月24日（火）～8月3日（金）11日間

訪 問 先：サクラメント、シアトルほか

派 遣 団：中学生 16人（男子6人、女子10人）

団 長 隅 田 浩（小野中学校 校長）

引率教師 中 村 兼 康（余土中学校 教諭）

” 山 本 明日美（南第二中学校 教諭）

協会職員 向 井 かおり

活動内容：【サクラメント】

- ・州議事堂、市庁舎、オールドサクラメントの街並み等の見学
- ・コロマ金鉱での発掘体験
- ・州最大のお祭り「カリフォルニア・ステート・フェア」の見学
- ・姉妹都市協会との交流会
- ・ホームステイ ほか

【シアトル】

- ・ボーイング社エベレット工場見学
- ・ワシントン州立大学キャンパスツアー
- ・パイクプレイスマーケット（地元市場）での班別英語実習
- ・地域美化ボランティア活動
- ・メジャーリーグ観戦 ほか

②ドイツ班

期 間：7月20日（木）～7月31日（日）12日間（大阪前泊）

訪 問 先：フライブルク、インスブルックほか

派 遣 団：中 学 生 18人（男子6人、女子12人）

団 長 吉 岡 弘（余 土中学校 校長）

引率教師 山 下 和 美（内 宮中学校 教諭）

〃 甲 谷 晴 二（北 中学校 教諭）

協会職員 田 中 早 苗

活動内容：【フライブルク】

- ・エコステーション、サッカースタジアムでの環境学習
- ・旧市街でのオリエンテーリング、フライブルク大学見学
- ・ホームステイ、ホストファミリーとの交流会
- ・学校訪問による青少年交流 ほか

【インスブルックほか】

- ・アルプスハイキングと環境保護学習
- ・自然体験と野外英語研修
- ・農家体験と現地の子どもたちとの交流 ほか

③韓国班

期 間：7月27日（金）～7月31日（火）5日間

訪 問 先：平澤市、ソウル市

派 遣 団：中 学 生 11人（男子4人、女子7人）

引率教師 一 色 美弥子（勝 山中学校 教諭）

〃 永 易 貴 史（雄 新中学校 教諭）

協会職員 鈴 木 美 貴

活動内容：「韓中日青少年国際キャンプ」として、中国寧波市、秋田県、青森市、松山市の青少年と平澤市の青少年が交流した。

- ・国際キャンプにした参加5都市間の交流会
- ・ソウル市内見学
- ・ホームステイ ほか

（4）報告会

日 時：8月18日（土）13:30～15:30

会 場：コムズ5階 大会議室

内 容：米独韓3班による報告

チャレンジプロジェクト対象事業とし、24年度の登録生徒38人が参加

（5）報告書の発行

報 告 書：A2版両面 2,000部

（市内中学校全クラス分の枚数を配布し、教室内への掲示を依頼）

（6）24年度チャレンジプロジェクト

- ・市内全中学校への案内文書の発送やホームページへの掲載ほか、4月22日に説明会を開催するなど、登録生徒を募集
- ・中学生に相応しい国際交流、体験活動を随時実施。23事業に延べ447人が参加し、89人が25年度派遣への応募資格となる4ポイント以上を獲得した。

2. 姉妹・友好都市からの青少年受入交流（予 2,560,000 円 決 1,105,211 円）

姉妹・友好都市からの青少年を受け入れ、日本文化の体験やホームステイ等、松山の青少年との交流機会を創出し、国際理解と友好親善を図った。

(1) 平澤市青少年受入交流

まつやま中学生海外派遣・韓国班の中学生が、現地でパートナーとなった平澤市の中学生を受け入れ、野外活動や日本文化体験、ホームステイ等の交流を行った。

期 間：8月3日（金）～8月7日（火）5日間

参 加 者：平澤市中学生11人・引率者3人、松山市中学生11人

交流内容：浴衣着付け、茶道体験（指導：松山市シルバー人材センター）

三味線体験（指導：創流民謡会）

料理づくり体験（指導：松山・平澤友好協会）

防災体験（於：松山市防災センター）

しまなみ海道ツアー（来島海峡観潮船・サイクリング）

ホームステイ ほか

3. 海外からの親善訪問団等受入（予 3,798,000 円 決 1,875,177 円）

姉妹友好都市からの訪問団を受け入れ、親睦を図ったほか、国内で活躍する外国人や国際交流団体、また、海外からの文化・スポーツ団体など、様々な個人・団体が来松した機会を捉え、市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めた。

(1) フライブルク市民親善訪問団

フライブルク市の公募により集まった市民親善訪問団11人を受け入れ、文化・観光の魅力を紹介するとともに、市民との交流を創出し、親睦を深めた。

なお、まつやま中学生海外派遣でフライブルク市に派遣され、現在、同市在住の男性が訪問団を引率したほか、奨学生交換事業によるフライブルク大学への留学経験者やボランティアガイドが滞在中の通訳を務めた。

・期 間：10月5日～8日

・内 容：松山城・道後温泉観光

秋祭り道後神輿鉢合わせ見学

銀天街神輿パレード出発式参加（協力：銀天街第一商店街振興組合）

握り鮓体験（指導：松山市シルバー人材センター）

松山フライブルク会による歓迎交流会

しまなみ海道ツアー

(2) サクラメント親善訪問団

サクラメント市議会議員や松山サクラメント姉妹都市協会会長等で構成された親善訪問団9人を受け入れ、文化・観光の魅力を紹介するとともに、市民との交流の場を創出し、親睦を深めた。

・期 間：10月20日～23日

・内 容：ボランティアガイドの案内による道後温泉・松山城観光

カメラファミリーによる歓迎夕食会

しまなみ海道ツアー

サクラメント松山姉妹都市協会による歓迎レセプション

さくら小学校と興居島小・中学校を訪問し、児童生徒と交流

(3) ジャズハーピスト 古佐小 基史さん

松山市出身でサクラメント市を拠点として活動するジャズハーピスト・古佐小基史さんが公演のため帰松した機会に、児童生徒との交流事業を実施。

- ・内 容：① 10月30日 雄郡小学校訪問
6年生109人に対する演奏・おしゃべり
- ② 11月 1日 さくら小学校訪問
全校児童808人に対する演奏・おしゃべり
- ③ 11月 3日 チャレンジプロジェクト「世界で暮らす日本人」開催
中学生26人が参加し、演奏・おしゃべり

(4) 日EU英語俳句コンテスト最優秀受賞者 ゼシャン・ハヤトさん

EU及び外務省が主催する同コンテストの最優秀賞の副賞としてハヤトさんが来松したことに伴い、観光案内やボランティアガイドの派遣、文化体験等をコーディネートした。

- ・期 間：11月22日～24日
- ・内 容：歓迎セレモニー等の通訳、アテンド
握り鮪体験を通じた外国人市民との交流
(指導：松山市シルバー人材センター)
弓道体験(協力：ダイキ(株)弓道部)

(5) 平澤市環境美化員視察団

同視察団の来松に伴い、松山市と連携し、視察・観光等のコーディネートやアテンドを行った。

- ・期 間：12月2日～4日
- ・内 容：松山市環境関連施設の視察
ボランティアガイドの案内による松山城等観光

(6) 愛媛マラソン平澤市選手団

平澤港マラソンに松山市選手団が参加したことに伴う相互交流として、平澤市から選手3人と市担当職員、体育協会関係者ら6人を受け入れ、視察、交流をコーディネートした。

- ・期 間：2月8日～12日
- ・内 容：愛媛マラソンへの選手3人の参加及びコース視察、前夜祭参加
スポーツ施設視察
陸上競技関係者や愛媛FCとの協議

※ その他、姉妹友好都市からの旅行者や行政視察団、各国大使らの来松に際し、松山市との連携により、通訳やアテンド、市民交流のコーディネート等を行った。

4. 地球人まつり (予 1,355,000 円 決 1,287,175 円)

(公財)愛媛県国際交流協会との共催による「地球人まつり in まつやま・えひめ」としてリニューアル。外国人市民が市民と一緒に自国を紹介するブースを出展することで、外国の歴史や文化に親しみながら市民とふれあう機会を提供し、身近な国際交流の促進を図った。

また、各ブースのボランティアスタッフとして参加した市民は、企画・準備から運営までを外国人市民とともに行うことで、より深い交流を促進した。

- ・日 時：1月13日 13:00～17:00
- ・場 所：松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール1F・2F
- ・出 展：世界各国ブース 21ブース（22の国と地域）
 フードコーナー 9カ国
 民族衣装試着コーナー
 パフォーマンス出演 16グループ
- ・ボランティア数：外国人市民60人・市民ボランティア165人
 （うち、チャレンジプロジェクト登録生徒47人）
- ・来 場 者：約1,300人
- ・そ の 他：2階に愛媛県国際交流協会が主催する県内国際交流団体の活動紹介
 ブースが出展

5. フライブルク市寄贈ぶどう活用（予 340,000 円 決 320,524 円）

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）の収穫に合わせ交流イベントを開催するとともに、収穫した果実からぶどうジュースと飴を製造し、「国際交流サロン」等のイベントで配布・活用した。

○ぶどう狩り交流イベント

- ・日 時：8月20日
- ・参 加 者：中学生15人・外国人市民15人
- ・内 容：ぶどう狩り

フライブルク市の紹介

（株）えひめ飲料によるぶどうジュースの製造過程の説明

うどん作り（指導：松山市シルバー人材センター）

○製 造 品

- ・ぶどうジュース 150本（250ml瓶）
- ・ぶどう飴 600袋（10個入り）

II. 共生支援事業

【2,016,408 円】

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生を推進した。

1. 外国語としての日本語教室（予 1,254,000 円 決 1,053,003 円）

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別4クラスに分けて基礎講座を開催した。

講 座 名	前期（4～9月）	後期（10～3月）
初級Ⅰ～Ⅳ	15回×4クラス＝60回 登録者数42人	15回×4クラス＝60回 登録者数35人

○託児サポート：子どもを持つ外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。

- ・利 用 者：前期3人、後期2人

2. 留学生支援団体助成（予 400,000 円 決 400,000 円）

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対し、助成を行った。

団 体 名	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
キ ャ ス C A S	市内各戸に呼び掛け、まだ使える生活必需品や余剰品を集め、留学生に提供。年間千件を超える余剰品を回収し、洗濯機や冷蔵庫、自転車など、生活用品全般を留学生や外国人就業者へ提供した 主な経費：倉庫使用料、車借上げ料、ごみ処理費	400,000 円 (887,716 円)

3. 国際交流サロン（予 215,000 円 決 65,252 円）

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

月 日	内 容	参加者数
6月10日	【赤毛のアンからの招待状】 カナダ出身の家族4人をゲストに迎え、歌やダンスを交えた文化や自然の紹介	23人
9月30日	【サマルカンドの“絹”を味わおう！】 ウズベキスタン出身のゲストを迎え、伝統的な家庭料理の調理体験や文化の紹介	27人
1月26日	【そうだったのね、モルディブ！！】 《コムズフェスティバル事業として開催》 JICA四国との連携により、元青年海外協力隊員の経験談や、国際交流推進員によるワークショップ「世界の食卓」の開催	23人
3月9日	【ダンス de ペルー】 ペルー出身のゲストを迎え、ダンスの体験や伝統料理、文化の紹介	15人
合 計		88人

4. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」（予 426,000 円 決 323,606 円）

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成やコミュニケーション能力の向上を目的とした講座等を開催し、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育への支援

職員による出前講座や職場体験を開催したほか、学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを派遣するなど、「国際理解教育」への支援を行った。

内 容	小 学 校	中 学 校	そ の 他
①職場体験／出前講座	2回（64人）	5回（25人）	3回（16人） ※チャレンジプロジェクト
②学校等への外国人派遣	8回（35人）	1回（1人）	—

※延べ人数、①は参加生徒数・②は派遣した外国人数

(2) コスモリアン教室

JICA四国をはじめとする民間国際団体との連携により、ワークショップを開催したほか、外国人や海外生活者と直接交流できる機会を設け、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。

月 日	内 容	参加者数
6月10日	【カナダサロン～自然だけじゃナイアガラ～】 カナダ出身の家族4人をゲストに迎え、カナダの自然や文化、民族舞踊等の紹介	29人
6月17日	【のぞいてみよう！国際協力の世界 part 1】 《JICA四国との連携》 ○青年海外協力隊員体験談：エルサルバドル ○ワークショップ： 松山東高校国際交流部を講師に、コーヒー豆の貿易をテーマとして「フェアトレード」を学習	31人
7月 7日	【のぞいてみよう！国際協力の世界 part 2】 《JICA四国との連携》 ○元青年海外協力隊員体験談：パラグアイ ○ワークショップ： 民族舞踊“パラグアイダンス”の体験	27人
8月29日	【かじってみよう！コリアンキッチン】 “日本文化体験プログラム”で来松中の韓国人大学生や愛媛県留学生会と一緒に韓国料理の調理体験	28人
11月 3日	【世界で暮らす日本人～ジャズハーピスト編～】 松山出身でサクラメントを拠点に活動するジャズハーピスト・古佐小基史さんをゲストに、ハープの鑑賞やアメリカでの体験談等による交流	26人
11月18日	【のぞいてみよう！国際協力の世界 part 3】 《JICA四国との連携》 ○元青年海外協力隊員体験談：ザンビア ○ワークショップ： 「世界の食卓」をテーマに食糧問題を学習	19人
2月16日	【国際交流チャレンジ講座～世界のお正月～】 《愛媛県国際交流協会主催事業との連携》 愛媛県国際交流協会が実施する講座をチャレンジプロジェクトの対象事業とし、欧州・韓国・中国のネイティブゲストにより、お正月をテーマとした文化を学習	2人 (中学生数)
2月17日	【発見！世界遺産とわたしの街のたからもの】 《松山ユネスコ協会との連携》 世界遺産をビンゴゲームで楽しく知るとともに、その意義を学び、異文化理解に努めた。	13人
合 計		175人

(3) ESDコーディネーター派遣

ESD(持続可能な開発のための教育)の専門家であるNPOを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

学 校	内 容
新玉小学校 6年生77人	モザンビークの児童との絵画交換等の交流を通して、途上国の暮らしや世界の現状、平和、環境問題について学び、文房具の支援や植林募金の実践につなげた
東雲小学校 2年生9人	生カカオからチョコレートを作る体験等を通して、フェアトレードについて学び、チャリティーバザーや支援物資仕分け作業への参加といった実践につなげた
鴨川中学校 1年生196人	社会科・地理の授業の中で、モザンビークやジオパークを題材に、世界と自分とのつながりを発見し、国際理解への関心を高めた
松山東高校 2・3年生3人	国際交流部員が途上国の現状を理解し、社会貢献・国際協力の方法としてフェアトレードを学ぶとともに、コスモリアン教室のワークショップの講師として実践につなげた

(4) 外国語(英語) de おしゃべりジュニア編

中学生とネイティブスピーカーがグループになり、遊びやゲームを英語だけでやり取りすることで、楽しみながらコミュニケーション能力の向上を図った。

月 日	内 容	参加者数
5月20日	クレープづくり	中学生 29人 外国人市民 6人
9月23日	伝言ゲーム	中学生 29人 外国人市民 6人
2月24日	すごろく、新聞ブリッジづくり	中学生 33人 外国人市民 7人
	合 計	中学生 91人 外国人市民 19人

5. 地域交流サポート(予299,000円 決174,547円)

地域や団体の協力を得て、お祭り等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、地域住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への受け込みと多文化共生を図った。

(1) 地域や団体の行事への参加

月 日	内 容	参加者数
5月 9日	【二之丸薪能】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を観賞	20
5月12日 ～13日	【二之丸大茶会】 愛媛県茶道連盟松山支部の招待により、外国人市民が伝統文化を体験	34

6月15日	【愛媛FCとのサッカー交流】 外国人市民と愛媛FCのスタッフ・コーチの混合チームによる紅白戦を通じた交流	13
8月22日	【高齢者デイケア施設訪問】 外国人市民が高齢者デイサービス民家「いろは」を訪問し、昼食や砥部焼き絵付け体験を通して交流	2
9月29日	【イクじいの子育て広場 in 中島】 《松山市シルバー人材センターとの連携》 日本人親子5組と外国人親子4組が中島に渡り、センター男性会員や地元住民の指導のもと、魚釣りや握り鮓体験を通して交流	27
10月6日	【銀天街神輿パレード】 銀天街第一商店街振興組合が運行する神輿パレードに外国人市民が参加し、日本の伝統行事を通して、地域住民と交流	7
10月20日 ～21日	【みんなの生活展】 大街道商店街において開催される「みんなの生活展」に4カ国（アルゼンチン・インドネシア・ネパール・中国）のコミュニティが紹介ブースを出展。また、3カ国（インドネシア・ネパール・フィリピン）が伝統芸能を披露し、来場者と交流	25
10月28日	【市民体育祭】 公民館対抗で実施される「市民体育祭」に市民と外国人市民の合同による「地球人チーム」で出場し、交流を深めた	22
11月24日	【ダイキ弓道部での弓道体験】 日EU英語俳句コンテスト最優秀受賞のイギリス人がダイキ弓道部を訪問し、弓道体験を通じて交流	1
2月6日	【ダイキ弓道部での弓道体験】 バルバドスからのALTがダイキ弓道部を訪問し、弓道体験を通じて交流	1
合 計		152

※ その他、各種団体の協力や依頼により、文化・スポーツ行事への招待や、公民館の料理教室、夏祭り、ボランティア活動等の地域行事への参加もあり。

(2) 学校のクラブ活動での文化体験

外国人が日本文化を体験する機会として、学校のクラブ活動へ参加させてもらうとともに、受け入れる生徒・学生にとっても国際交流体験の機会とした。

月 日	学 校 名	出 身 地	参加者数
6月8日	東雲女子大学 着装部 (ゆかた着付け)	ネパール、バングラデシュ 中国	3
7月6日	東雲女子大学 着装部 (ゆかた着付け)	中国(香港)	1
8月21日	桑原中学校 箏部 (箏鑑賞・演奏)	韓国	5

8月28日	桑原中学校 箏部 (箏鑑賞・演奏)	韓国	5
12月5日	東雲女子大学 着装部 (ゆかた着付け)	中国	3
12月12日	東雲女子大学 着装部 (ゆかた着付け)	インドネシア、ネパール	2
合 計			19

Ⅲ. 基盤整備事業

【2,657,736円】

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や団体の活動の活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努めた。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座（予 115,000円 決 88,498円）

市民を対象とした国際交流ボランティア活動に関する講演会や意見交換会を開催するとともに、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。また、中学生を対象に「ジュニアボランティア入門講座」を開催し、幅広く人材育成に努めた。

○講演会「3. 11わたしたちの震災」（愛媛県国際交流協会との共催）

- ・日 時：11月16日
- ・受講者数：66人
- ・内 容：東日本大震災を体験した外国人市民と、外国人の避難生活や復興を支えた市民ボランティアを講師に迎え、外国人が直面した課題や実際の取組について学んだ

○第1回外国人サポーター研修（愛媛県国際交流協会との共催）

- ・日 時：12月15日
- ・受講者数：35人
- ・内 容：サポートする側の通訳ボランティアと、サポートを受ける側の外国人市民をゲストに実体験を聴くとともに、ボランティアの在り方について受講者と意見を交換した

○国際交流団体による活動紹介

- ・日 時：12月22日
- ・受講者数：18人
- ・内 容：市内で活動する国際交流12団体が参加市民に対してガイダンスを行い、マッチングを図った

○ジュニアボランティア入門講座

- ・日 時：3月17日
- ・受講者数：中学生16人
- ・内 容：アジア・アフリカの民間支援団体「アジアキッズケア」において、外国人市民とともに支援物資の荷づくり作業等の体験

2. 交流ボランティアのための語学講座（予 1,742,000 円 決 1,377,207 円）

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を活かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。

また、これらの受講者を含めてボランティアガイドに登録し、活動してもらうことで、市民参加の拡大に努めた。

(1) ボランティアのための語学講座

生活支援や観光案内など、ボランティア活動に必要かつ実践的な語学の習得を図った。

講座名		前期（4～9月）	後期（10～3月）
ハングル	上級	13回・登録者16人	13回・登録者13人
中国語	上級	12回・登録者6人	12回・登録者9人
英語	上級	15回・登録者59人	15回・登録者54人
	土曜集中	5回・登録者26人	5回・登録者24人

- ・ハングル及び英語集中講座は、前期・後期各1回、観光施設等において実地研修を行うフィールドワークを実施。英語上級講座は2回実施。
- ・中国語講座は後期に1回、フィールドワークを実施。

(2) 外国語 de おしゃべり

ネイティブスピーカーとの会話の中で、コミュニケーション能力の向上と多文化共生意識の高揚を図り、ボランティア参加のきっかけづくりとした。

講座	開催日	延べ参加者数
中国語	6/9, 9/8 計2回	18人
ハングル	4/14, 7/14 計2回	21人
英語	5/19, 8/11, 11/17, 2/16 計4回	82人
合計		121人

(3) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドやイベント通訳等の支援を行った。

《ボランティアガイド登録：85人》

月日	内容	種別	派遣人数
6月26日	平澤市行政視察職員の松山城、道後観光	ガイド	4人
7月7日	ホームステイ中の外国人のガイドをホストファミリーから依頼	ガイド	2人
8月21日	韓国人大学生の松山城観光	ガイド	6人

8月25日	韓国人大学生の東温市「観月祭」案内	ガイド	4人
8月26日 27日	日米青少年のバスケットボール交流の通訳	通訳	2人
9月22日	アメリカ人女子高校生の市内観光	ガイド	1人
10月20日	サクラメント親善訪問団の松山城、道後観光	ガイド	3人
11月29日	フィリピン国家警察職員の松山城、道後観光	ガイド	3人
12月4日	平澤市環境美化員視察団の松山城観光	ガイド	2人
2月11日	中国人留学生の両親の松山城観光	ガイド	3人
3月16日	中国人留学生の両親の松山城観光	ガイド	3人
3月21日	ドイツ人観光客の道後観光	アテンド	1人
3月29日	サクラメントからの観光客の松山城観光	アテンド	1人
合 計			35人

3. ホームステイ・ホームビジット振興（予90,000円 決78,660円）

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人に対し、ホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図った。

《ホストファミリーバンク登録：167家庭》

期 間	受入家庭	受入人数	内 容
4月1日～7月1日	2	1	アルゼンチン人
5月18日～20日	14	20	愛媛大学へのアメリカ人研修生
9月20日 9月24日～28日	2	2	愛媛大学へのイギリス人留学生
9月14日～16日	6	8	愛媛大学へのアメリカ人研修生
11月10日～11日	5	6	松山大学への 韓国人・中国人・台湾人留学生
11月10日～11日	2	2	韓国青年訪日研修団
12月16日～18日	1	1	フライブルク市民
12月26日～27日	1	1	松山大学への中国人留学生
合 計	33	41	

○My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族と
なってもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安として、ホームステイに限らない
自由な交流を行ってもらう「My Matsuyama Family」を実施した。

- ・ 交流実績：春季（6月～9月）：8カ国33人の留学生が30家庭と交流
 秋季（11月～2月）：9カ国29人の留学生が26家庭と交流
- ・ 登録家庭：152家庭

4. 生活サポートボランティア派遣（予95,000円 決10,360円）

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活
サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

また、オタスケマン登録を専門的な語学力を要する「医療関係オタスケマン」と、
語学レベルは問わない「日常生活オタスケマン」に区分することで、市民参加の
拡大を図った。

○オタスケマン登録者数：医療109人・日常232人

(1) 医療同行サポート

月 日	内 容	派遣人数
4月28日	睡眠時無呼吸症候群と腹痛のための受診	1人
8月 4日	診察結果の説明（耳鼻咽喉科）	1人
8月 6日	医療器具の装着や使用方法などの説明	1人
8月20日	定期検診（耳鼻咽喉科）	1人
9月15日	初期検診（産婦人科）	1人
9月21日	定期検診（耳鼻咽喉科）	1人
12月26日	産婦人科妊婦健診	1人
1月16日	定期検診（産婦人科）	1人
2月13日	定期検診（産婦人科）	1人

(2) 日常生活サポート

月 日	内 容	派遣人数
4月 5日	保育園入園手続きの補助	1人
5月10日	日本語を教えてくれる学校または先生探しの通訳補助	1人
6月28日	エアコンの修理の立ち会い	1人

8月16日	携帯電話契約や銀行口座開設などのサポート	1人
9月5日	中国語で交流できる友人探し	1人
12月11日	小説読解のサポート	3人
通年	帰国子女の学校生活サポート	1人

(3) 愛媛大学留学生来日手続き…市役所・銀行・大学での書類記入サポート

月 日	内 容	派遣人数
3月27日	市役所での各種転入手続き並びに携帯電話の契約	1人
4月4日	愛媛大学での各種書類記入	2人
4月6日	愛媛大学での各種書類記入	2人
9月26日	愛媛大学での各種書類記入	2人

5. 民間国際交流団体等助成・支援（予 1,910,000 円 決 579,107 円）

(1) 民間国際交流団体助成

松山市内の団体が広く市民を対象に実施する国際交流活動に対して助成金を交付し、国際交流・理解の促進に努めた。

月 日	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
7月29日	交付先：アンサンブル楓 事業名：第10回アンサンブル楓国際交流コンサート 内 容：ブラジル2人と中国1人の留学生と一緒に、それぞれ出身国の歌の合唱を披露。約160人の参加があり、音楽を通して交流を深めた 主な経費：出演者謝礼、プログラム印刷費、会場費	84,757 円 (184,514 円)
9月15日 1月12日	交付先：NPO法人「国際地雷処理地域復興支援の会」 事業名：国際平和活動及び交流活動の報告会 内 容：カンボジアでの地雷・不発弾処理や地域支援の報告会を2回開催。ドキュメンタリー映像の上映やゲストによる体験談などを交え、国際理解や交流を図った 主な経費：会場費・消耗品・郵送費	90,000 円 (414,899 円)
12月15日	交付先：愛媛日仏文化交流会 事業名：講演会“フランスのクリスマス市” ～クリスマス発祥の地アルザス地方の魅力～ 内 容：アルザス地方観光局のフランス人を招き、文化講演会を開催するとともに、伝統のお菓子を味わいながら交流し、理解を深めた 主な経費：講師謝礼・交通費・会場費・消耗品費	29,268 円 (116,036 円)

(2) 姉妹・友好都市との交流助成

姉妹・友好都市との交流促進を目的として民間団体等が実施する訪問・受入事業に対し、助成金を交付し、市民主体の友好親善の促進を図った。

月 日	事業内容	助成金額 (総事業費)
9月20日 ～ 9月24日	<p>交付先：サクラメント松山姉妹都市協会 事業名：国際平和デー サクラメント派遣事業 内 容：加州議事堂にて開催された「国際平和デー」に松山聖陵高校の生徒やOBら9人が参加し、伊予万歳や三味線、茶道を披露。また、現地のハイランド高校を訪問し、日本文化の紹介や授業参加など、交流を図った 主な経費：渡航旅費</p>	200,000円 (1,757,296円)
10月11日 ～ 10月13日	<p>交付先：平澤港マラソン招待選手団 事業名：平澤港マラソンへの参加 内 容：平澤市からの要請を受け、選手・役員6名が平澤市を訪問。選手5名がマラソンに参加し、女子の部では2位に入賞した。同時に、愛媛マラソンへの参加を働き掛けた結果、平澤市から選手関係者の参加があり、マラソン交流に発展した 主な経費：渡航旅費</p>	169,432円 (338,865円)

(3) 後援

月 日	事業名	団体名
10月13日	第29回マドンナ・レシテーション・コンテスト ～中学生英語暗誦大会～	松山東雲中学 ・高等学校
10月27日	第19回カルフル杯 英語弁論大会	松山大学E.S.S 「英語部」
11月10日 11日	第13回中国・四国エスペラント大会	愛媛エスペラント会
12月15日	中国古箏演奏会	李 娜

(4) 協力

月 日	事業名	主催者
12月 7日	「地域国際化ステップアップセミナーin 四国」 四国四県を中心に国際交流関係者が集まる中、協会職員が講師として“ESDコーディネーター派遣制度”を紹介	財団法人 自治体国際化協会
1月30日	「松山市人権教育研究会」 人権教育の関係者、団体等の研究会にブースを出展し、“ESDコーディネーター派遣制度”を紹介	松山市 人権教育推進協議会

6. 情報発信事業（予 745,000 円 決 523,904 円）

(1) 情報冊子等による情報提供

生活ガイドブック、防災マニュアル等により、生活情報を外国人市民へ提供するとともに、市民に対しても、姉妹・友好都市紹介等のパンフレットを提供し、国際理解の促進を図った。

また、英語ボランティアガイドクラスが編集した英文情報誌を月に1回発行し、各種情報を提供した。

○月刊英文情報誌「What's going on?」

毎月580部発行（公共施設・駅・空港・大学など36か所に設置）

(2) ホームページ・メールニュース・フェイスブックによる情報提供

イベント、講座等の情報のほか、新在留管理制度など外国人市民向けの生活情報も適宜、掲載・発信し、情報発信の充実に努めた。

○メールニュース

週1回定期発信，登録数：市民 1,174件・外国人市民 530件

(3) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書、国際理解啓発DVD等を収集し、市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

図書貸出：55件

(4) 新入学留学生に対するガイダンスの実施

愛媛大学、河原電子ビジネス専門学校日本語学科の新入学留学生に対し、ガイダンスを行い、生活情報を提供するとともに、協会事業の周知を図った。

○ラジオ・テレビ広報

月 日	告 知 内 容	番 組 名
5月26日	「外国語 de おしゃべり」及び「国際交流サロン」	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
8月11日	「ボランティア語学講座（後期）」	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
10月16日	「国際交流市民ボランティア入門講座」	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
1月 3日	「地球人まつり」	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
1月 5日	「地球人まつり」	テレビ広報番組 「わくわくテレビ」
1月 6日	「地球人まつり」	FM愛媛

IV. もてなしの風土醸成事業

【291,226円】

日本語教室や文化体験等、協会が持つノウハウを生かしたプログラムを提供することで、外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努めた。

1. 日本語習得短期留学生受入（予 441,000円 決 224,126円）

愛媛県国際交流協会が実施する日本語教室と、本協会が実施する日本文化体験、市民との交流等、県市協会の持つノウハウを生かしたプログラムを提供することにより、外国人の誘客を図り、交流人口拡大に向けた一助とした。

なお、事業PRの韓国語フェイスブックを開設するとともに、参加した韓国人大学生には各自のフェイスブックで参加の様子を紹介してもらうことで、松山の観光や文化のPRを図った。

・期 間：8月19日～31日

・受入人数：韓国人大学生10人

・内 容：「日本語集中講座」の受講（10日間）

松山市シルバー人材センターの指導による茶道体験

民間国際交流団体「CAS」の協力による浴衣着付け

桑原中学校箏部での箏体験

韓国語ボランティアガイドの案内による松山城観光

韓国語ボランティアガイドクラスでの韓国料理実習

カメラアファミリーの案内による東温市観月祭花火大会の見学

松山市防災センターでの防災体験

チャレンジプロジェクト「コリアンキッチン」での中学生との交流

松山平澤友好協会の指導による日本料理体験

2. レンタサイクル（予 85,000円 決 67,100円）

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

・設置台数 10台

・料 金 無料

・貸出回数 30回

IV. 事業報告の内容を補足する重要な事項

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」を以下のとおり作成する。

1. 評議員会の開催状況（評議員20人）

日 時	付 議 事 項	出 欠
5月23日（水） 15:00～16:05	<ul style="list-style-type: none"> ①平成23年度事業報告及び収支決算の承認について ②公益財団法人移行後の最初の評議員の選任結果の報告 ③定款の変更の案について ④公益財団法人設立後の登記簿に記載する理事及び監事の選任について ⑤公益財団法人移行後の最初の理事長及び常務理事の氏名を定款の変更の案の附則に掲名することについて ⑥公益財団法人への移行に伴う財団法人松山国際交流協会役員報酬等に関する規程の全部改正について 	出席15人 欠席5人 (委任状4人)
8月8日（水） 15:00～15:55	<ul style="list-style-type: none"> ①任期満了に伴う役員の選任について ②公益財団法人移行後の定款の変更の案の附則に掲名する最初の評議員の変更について ③公益財団法人への移行申請を行うことについて ④平成25年度事業方針（案）の協議 	出席16人 欠席4人 (委任状3人)
3月21日（木） 15:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ①公益財団法人への移行認定の報告 ②平成25年度事業計画及び収支予算等（案）の承認について ③定款の変更の案の変更について ④公益財団法人松山国際交流協会評議員会運営規則等の諸規程の制定について ⑤財団法人松山国際交流協会諸規程の改正及び廃止について 	出席16人 欠席4人 (委任状1人)

※開催場所は、すべてコムズ4階国際交流会議室

2. 理事会の開催状況（理事20人・監事2人）

日 時	付 議 事 項	出 欠
5月25日（金） 15:00～15:45	①評議員の一部辞任に伴う選任について ②平成23年度事業報告及び収支決算の承認について ②公益財団法人移行後の最初の評議員の選任結果の報告 ③定款の変更の案について ④公益財団法人移行後の最初の理事長及び常務理事の氏名を定款の変更の案の附則に掲名することについて ⑤公益財団法人への移行に伴う財団法人松山国際交流協会役員報酬等に関する規程の全部改正について	【理事】 出席12人 欠席8人 (委任状7人) 【監事】 出席2人
9月5日（水） 15:00～16:00	①理事長、副理事長、常務理事の選任について ②公益財団法人移行後の定款の変更の案の附則に掲名する最初の評議員の変更について ③公益財団法人への移行申請を行うことについて ④平成25年度事業方針（案）の協議	【理事】 出席13人 欠席7人 (委任状7人) 【監事】 出席2人
3月21日（木） 15:00～16:00	①公益財団法人への移行認定の報告 ②平成25年度事業計画及び収支予算等（案）の承認について ③定款の変更の案の変更について ④公益財団法人松山国際交流協会評議員会運営規則等の諸規程の制定について ⑤財団法人松山国際交流協会諸規程の改正及び廃止について	出席11人 欠席9人 (委任状7人)

※開催場所は、すべてコムズ4階国際交流会議室

3. 最初の評議員選定委員会（委員5人）

公益財団法人移行後の最初の評議員については、中立的な立場にある者が参加する任意の機関を設置し、この決定に従って評議員を選任する方法をとる旨を理事会で決議。愛媛県の認可後、評議員1人、監事1人、事務局職員1人、外部委員2人による選定委員会を組織し、選任した。

日 時	場 所	付 議 事 項	出 欠
4月25日（水） 11:00～11:35	コムズ4階 国際交流会議室	最初の評議員の選任について	出席5人 欠席0人